



1520
1-6

あゆひ抄卷五目録

ナニ身ナ四

氐身一

何て

何てん

阿木良六

何あ

何つ

山本義正

之身二

何ノ

何ノ

何望

阿木良三

ほすもかどるも

何を何を何を何を何を何を

何川

河津木のつ

何せも

何あると何とか

何まく

咩利身三

何めめ

那利身四

何まみ

由久身五

何ゆく

阿不身六

何あみ

也留身七

何やる

加奴身八

何かめ

被身九

何ふぬくるほのくろる
かづくらう

令身十

何モ

為身十一

如身十二

何とぬりうとぬれむ

八隊矛五

義隊一

何ミ

何ミ

久隊ニ

何ミ
行けく

介隊三

何ミ
行けく

加之隊四

何カ
ホリ

奈倍隊五

何ミ
行けく

毋乃隊六

何ミ
行けく

八多隊七

何ミ
行けく

加天隊八

何カ
ホリ

何何ミ何ミ
何乃ホミホミ

あゆひ抄卷五 因縁終

あゆひ抄卷五

北邊口授 門人吉川彦富 筆受

十二身才四

氏身

乃の御紫の在乃小も車内

未とけよろハ不倫

アリ

而て乃の御紫の在乃小も車内未とけよろハ不倫アリ

墨言商不及引手。朝のうち
をそへ紙下りのとひつをるやう。ますをとおそく凌も
程もあとゆとぞつて設也。○又^{アリ}のてありとづく神を
えきてす。あらわとひそ黒火とくとて致取と
うて菊のよし向かうとひそ黒火とくとて豈
きとくめとほせよ。こくと多す
つまむがゆめあり



一

且と黒子の酒と云ひて
とひやうを

あひの坂の風の
まつり静みてさかやの月の跡
物候
すみのえのまきにむかひて
ルホトニ
かのの原よりきもあり也
てつみかよしよまかくひてまつりや
かのの山の秋かく

の多くての類なりとまの心は向かへず又は今
氣改めて心をもとめ、やがて心は向かへて氣

١٥

何ありて
同二例
中もと
とすみく
トもじ

て、とくに山里のあざやかなる、黒色不及る矣。たゞ此す
類、てえと云ひて、黒ア・白ア、とある。山里の
黒アセア、それも見てよきとあり。又云のあざやか
アリテ、白アセア、わらのあざみまゝに、いふ事

りて、ハラハラ海へ又りあひて、おとづれとぞ
きとゆふ現るやうとおもひます。されば、文教りと思

方二月の事と云ふ事でさしあまりの事
元末

とこくをすりとじうきてそんへきみゆりとひよももじ
翁翁集
元亨
とせやまくすすはるはわやまくすすはるはわ
元亨
な

家のもともまことにあつたが、まことに、かくもと
よしむかきあひて、下りて、まくはりあへて、まくはりあへて、
かくのまくはりあへて、まくはりあへて、まくはりあへて、
まくはりあへて、まくはりあへて、まくはりあへて、

五品才子集
將倫子

行ふるの事す向
けりまくもむ
うそやうじとみ
看

後拾
波乃あつみかでわうれむけり玉の水と
くれがすり袖あらきを雪てれもとうひがうて
纏テ置タフギヨリ
あとのまみてくわくらのせよぬとしまるはうの水
まの人もこわめやよまくいきがなまつる花とおでしな
まのえあるきゆテ有タ
かひくわつあゆめよみかくわ
色あと人やみくじりとくわもくらはすとあと
かくらくちよとあはくわもくらはすとあと
居テ居ヌ
るよにうちあわゆのまよゆとあうとくわと
新古テ有タフデ居カ
え補集
兼盛集
アアル・ヤサセモ

外にあらずてありてありが。もとよりはとるよそあは
有倫のものか。内へのものか。重き因。性有倫
ありとひづく。重きあらわす。ひづく。重き因。性
條をう。今、てあるとひづく。ひづく。重き因。性
何ハ何を向とありとひづく。ありといふ。有倫

君のよみがへり水あづれと水ひきまく
纏テモル
みのねかテアルおゆびにこゆまむ花ちゆうすりとゆくま鶴
大野守
よもぎをせりてうみを嘗め現氣テモトナレ方
車テモル走て春テアルよしわゆめらももうらもけ
あらぬよしあとまくとくわゆまゆまくは

日

ひもとすねりをよきとあつてもみのどてもあくつ
まゆのものとれたらとくらむととわする

ふじとひをあくとせや

我と海もくもつねくもとすとゆう月夜を
かすくととふもとくわつひにうなづくおへき

つも

つとまつ

つなし

つべ

つや

つめ

とも黒言とあひるをとく里へすく見あ
れぬ

ほえ

口はるゝ事あり墨を之
うする何事也。何つ、まなづひは、魔もも、五層とて、りくへ
えども、ぬれ、さう、ぬれ、とす、ゆあて、條とくら、あうて、ハ
のちやと、墨す。一・ゆく、ハ、たすかと、墨ゆす。

まうとあらあそおとひなひよすまうんとやく
まう人あわゆあわゆうひよすのすきに花とゆく
まうれを夏かも人とまうきとあいたりとまうき
まうがつるかなうきとつるれおひるいれ
タノデルフヂヤ
まうれ、ひるいれ
テヌアカナ

あ、おうきよもくにわざわざかづきつける
ゆゑもみまきのひめのへんすいのもゆ

わづもく神とまかうのうちあわててモテキヒの身
の爲めに九^ノ乃羽毛をやまつす。やくんや里言ひのい
へともかわあつておわくままで得難。さてのうはま
すとからまと今森、つじかとじかとえつてやすみうゑ
先とくまのとくまつ^ノ足^ノの居を瓦舞ひる。^ノ
とくまのとくまつ^ノ足^ノの居を瓦舞ひる。^ノ
うとこれ^ノとくまのとくまつ^ノ足^ノの居を瓦舞ひる。^ノ
わゆ。わゆかのとくまつ^ノ足^ノの居を瓦舞ひる。^ノ
きとあくまとくまつ^ノ足^ノの居を瓦舞ひる。^ノ
の羽毛^ノのよかはまつ^ノがひつこまうけ^ノあく
化友則^ノあまくまのあひ^ノきとくはあくま^ノ其の^ノ

ととくとあわせかひてこうちけとの事もあはゆる
こうちけの事もありけるといふ事あるやうだ。かくして
あくまで黒字もあらず。がまくと今日本二例をあ
くま一例とつぶやかへる所の事ありて。さうしてよし
きか。えりとすらあらぬ所があるとも。さておきとあらむ御
ごくは御也。黒てこれなりじて、れやうて
きゆうじやうがする御といましとどくまわらひと
いへ。まは左の友嗣乃等の御事とまづかがりにて
とあらうとこな
ちもんに
ちもんに

E
L

卷之二

小まことのむかしのうたを聞く
君はさあまた歌う出でまわつひねどりもとて雪には
あらわとかひなまことかねふてあもあとこもくわからず
又じ例の「ハ里」て〔ハリ〕と云ふあるふとて云ふ
うるさきまのう。裏をも口二例もふ
もとく人なりよへゆひ音とくのうとうとく

卷之三

四

1

卷之三

三

Kō

ハ脚季乃庭
ノホシナカツ

志家

志

あらすじを今あらゆる事
とすまでも里たとひに里まく
とひのふすくてわいきなものあらわすても

今とまつてあらそを初めがれねてあらそかゆゑあ
うん人をうみとわざへぬ。ひづれうそを厚てちく
朝のとよ[日記]てあらそとまつてあらそまわづ

りとあつて、**般属**又は**同上**とある事す
つまふも、よきのまわり後捨きよどぬとも、秋をもわ
ゆくれど、かくも、おもてやう。而も麻めにひそむ
上をひきぬく。あくとも、**同上**である事と、ちがひ難例也

物をもとす事あらず
モノニシタゞ
アムニテニタゞ
ズヰニテニタゞ
テノニシニタゞ
モニテニタゞ

るまくすとよりる。」も見がれ

ゆ
の上を

行 ことゆ

かわすよとよとよみくらわやある。しるすの字す
かわすよとよとよみくらわやある。しるすの字す

か書家

か書家

かのくとよとよみくらわやある。のまつやすてねつをぬく
かのくとよとよみくらわやある。のまつやすてねつをぬく

か書家

か書家

か書家

か書家

か書家

か書家

か書家

か書家

ゆ
の上を二詞全圖

止家

止家

きうの幸うしむを秋や。さあめうとうといふ詞也

墨

墨

修ゆへ通とくにまくしむのをぬとほくへほと

墨

墨

言ふあらうとくに波家

墨

墨

かわすよとよとよみくらわやある。すとよとよ

墨

墨

行幸

ねが車の本脚

上乃御 うと向く。ゆひよこすと

うちあす。

本脚

侍輪 うそをきとしの御まき。西

あくまき。

本脚

侍輪 うそをきとしの御まき。上乃

あくまき。

本脚

侍輪 うそをきとしの御まき。上乃

のつしあととを。黒うりのをとく
泉式ア集
 あくまき。口つわをあまき。口
 故道初とあひそらうて。又の筋らそて。口つわをとく。
 えくのやうそらうて。ゆきがのんとまくても。ゆき
 かくすあめとく。葉花むらむ。院かくのうりまくす
 うそをみる。ひく。葉花むらむ。院かくのうりまくす
 とかくと。用あゆひす

三

咩利身

行幸

侍輪

行幸 ねが車の大さな ともじよひくいきのせうす
本脚 ちくにさくとくとくふをくゆくすめうひのせ
 じぬをかくとくとくふをくゆくすめうひのせ
 なをくすくとくとくふをくゆくすめうひのせ
 うとく河かくちくとくとくふをくゆくめうひのせ
本脚 あくまき。口つわをあまき。院かくのうりまくす
 めうひのせ

侍輪

鶴子の花をかき。かき。れゆりゆり。人まきをひき

五
呼 手 用 手
卷三十一
又事け車と又御主介隊乃の事あも下
よくあわう。よく
仰けありとつちあはれあら。二三言年
のまへきてよすくま
あ、よきにそろそろ
なよし。あはれも御あはれなまくまくまく
やまと今あらわ

四

行
事
記

何事
未脚者

その
と

赤やうり

とく
考
角
角

卷之三

卷之三

卷之三

めでたすうひまあづくらしも
らしき墨モク
れとくトク 但ヒテ心ハ鹿ツバキとトる
墨モクもやえてあつた
林の野ノ人ヒトまわりマワリわらを守ガウすまつまわマツマワりとトりまくムクてテいイまくムクもひ
あうかくアウカクらゆめラユメのノかきカキしシくクもくムクもくムクみほミホきキがくガクす
ねすネスつツありアリ等ドウ園エン奉ボウ承セイ

易經

ハイソレヨリハ
タマニタハ

か

久陽

卷之三

久須御内侍と申す。まことに。いはば
えへあてかく。やうに。のとあるてれども。御内侍
あり。それからひるやく。又あるまとがわ
も。右の内侍とも申す。あつて

五由以身

六
阿不身

の事のあや
往又御_レ
ゆきのうやくよみかづよ

まもるといふゆ
てあらめいかと云ふ物よ、さあくと
すまゆる。まくいえもまゆる。まゆ
る。まくいえもまゆる。まゆる。ま
ゆる。まくいえもまゆる。まゆる。
とをもととよとよとよとよとよとよ

七
也留身

何事かと云ふ事
は御もやうと
やうと御もやうと
又、上、下、左、右、
裏、ちやうと、外、
と云ふが

行わろ
往御わらひ

巴蜀口占

つるぎあわせ

也皆が如

加奴身

ゆゑ
ゆゑ、事の里向かふて守つてゐる汝の
従御も

加奴身

何莫知・あくト何モセラレス
もくト何モセラヌハ
もくト何ニトガタジ

少々やてのまへ
いがくを今てもかのまへり
ゆきやまめのゆき
ゆきやまめのゆき

御往来
徃御をこ
み、東の里向。カコあへるすゆうゆくあらはり
黒あふてあるづく。かくもとるつゝまちが
ひき。おとづれ。かくもとるつゝまちが
あ。かくもとるつゝまちが。うちわくもと
かくもとるつゝまちが。うちわくもと
拾。かくもとるつゝまちが。かくもと
かくもとるつゝまちが。かくもと
かくもとるつゝまちが。かくもと
かくもとるつゝまちが。かくもと
かくもとるつゝまちが。かくもと

九
被身

てやあもがれをかくはゆる

文

五
十七

六

○才ニ表とひきりかはすての御史ミツシキ
あらぬの業すゆの本わまへとしも拂ふよをまく。し
テレナルカナ
レルニヨリ

卷之三

玉雲は、うそをつくふらはる。
（了。）

レウ	レタ	レテレドフ
レニレラテアラウ	レニシナリニ	日上
レイテ	レヌ	日上
レヌデアラウ	レスモノチャ	レスモノキ
レスノニ	レスノモ	レスモモ
レヌサテ	レヌモ	レヌモモ
レイイ	レヌモ	レヌモモ
レヨサテ	レヌモモ	レヌモモ
レウ	レタ	レテレドフ

令身

乃半車里回入
乃東也
入
モロツ

乃東也。天子之書。天子之印。

也
サシツ
セラル
ヤラキ

2

大
三

花^カ多^ト有^リ。又^ト有^リ。ち^リ。は、聞^ク。或^モ有^リ。わ^フ。う。レ。う。宿^ス

。も^トと見^フ抄

行^ハじとつ^ム銅^トサ^サガ^ル事^ト。代^ハ後^ミね^ム小^シを
え^ハ○^ルち^リ。御^ハ、也^ト魔^ハと^シ神^ハか^セ。地^セ
す^カせ^ハと^シひ^ツみ^ハ。御^ハ、セ^ハな^モも^カり^カ
が^シる人^モあ^れく^シむ^カ。

行^ハじ

やそぞせすふか其^ハと^シて。何^ハ精^ハの本^也。但^シま^ハすと^シ銅^ハあり

す^カて^シう^まと^シす^カと^シし^カと^シか^フす。里^ハ回^フ。度^ヒ引^フ
き^アり^シ。人^モい^シひ^シか^リと^シあ^ジ有^シ。魔^ハと^シく^シ。人の^モす^カ
を^シあ^みせ^キを^シあ^ジ魔^ハと^シう^き。紫^モう^カり^カ
ね^カま^ト本^アり^カ。人の^シあ^ジは^シ魔^アり^カ。是^のう^てと^シか

ひ^ハと^シあ^ジは^シ魔^アり^カ。是^のう^てと^シか^リ。行^ハじ

と^シも^シる^トあ^ラう^シ。三^レ表^ト表^トの^シも^シと^シを^シれ^シ

や^ハも^シる^トあ^ラう^シ。三^レ表^ト表^トの^シも^シと^シを^シれ^シ

モ^ハく^シる^ト。凡^ハ被^ハ身^ト。人^ハつ^ラす^カ。令^ハ身^ト人^ハと^シけ^ス

ゆ^リて^シ火^アあ^ハつ^シられ^ト。川^ト水^ト火^アめ^ト火^アめ^ト水^アめ^ト火^アめ^ト

ら^ハお^ハと^シ被^ハ身^トの^シ。御^ハと^シ。火^アめ^ト火^アめ^ト火^アめ^ト火^アめ^ト火^アめ^ト

ナ^ト令^ハ身^トの^シ。御^ハと^シ。又^ハと^シ。か^リき^ラと^シ。火^アめ^ト火^アめ^ト火^アめ^ト火^アめ^ト

と^シも^シる^ト。令^ハ身^トの^シ。用^ハす^カ也^{。シ}。火^アめ^ト上^セす^カも^シ。

て^シか^リき^ラと^シ。火^アめ^トも^シ。行^ハく^シ。万^ハ第^ト

雄略天皇乃御製。葉つひをとすとまつとも
きより。又日世うけろかせうて。あまきかくても
やくよきとある。是も 王也 といひ物のひるや。又うつ
物語。所へるめくからりがんばつ御すも。前
うつうがくとあるがくとゆふ。かくすゆく
くとくわ。モサニうこわわ。かくもひくとゆ
えゆひつゆくとゆくもの。黒すもゆくとゆく。是
が今れ里消息うか。管上せじゆすゆううらうがく
かく。又法度うか。うか。うか。うか。うか。うか。

為身

為まつて紫まで脚もくわ。上うきもとまもくとえ

きあくす。化為車のりす。あ。里言宣ひ
きくしむ。もじ。もじ。もじ。もじ。もじ。もじ。もじ。
かくらはれ。車もじ。おもね木の。系。はく。もく。
門めりひ。又紫の。往とくと。風もく。かくもく。と。青
いもひ。まわ。まわ。まわ。まわ。まわ。まわ。まわ。
まよ。まよ。まよ。まよ。まよ。まよ。まよ。まよ。まよ。
まよ。まよ。まよ。まよ。まよ。まよ。まよ。まよ。まよ。
まよ。まよ。まよ。まよ。まよ。まよ。まよ。まよ。まよ。
まよ。まよ。まよ。まよ。まよ。まよ。まよ。まよ。まよ。

や、もんぢて立ゆても、常わぬ事也。こののじよと、
くらうよるにまづく、里言葉があり、さういふものもひど
きそむく事無し。里言葉をあらゆるも脚、止家

三

如身

のよろひすと
鹿又脚也
めうと
又既とく
ねうと
又既とく
めうと
竹ハ黒のと
名也

八
卷
之
五

三

何へまえか詞のやと、暮れのじたもと、ゆきちかむらの雪も
浦の木也
あさじなと、黒
うぶがわアズモなど、すよあれよ、
あはきよゆゑ、
など、うめく次第、
あゝお山やの白波、
あはきよゆゑ、
日
廿

もあ
のうとひのまへあつきてすくすく
きよそとく風ひかどみ國ひとてと吹ふわむ

傳子
子曰。吾從周。君子之過也。如日月之食焉。過也。人情有所不能免。吾從周。周人之過也。如日月食焉。過也。人情有所不能免。吾從周。

但ひさとしの黒雲と曰ふてやうへり
前條また○をいふと云ひて廢と云ひて居るやう
この例はもとから御あるやう

乃字の筆順の如きと同様に書かれてゐる
墨跡何處かあり得ぬと思ふ

久
豫

物の事に何をも思ひやうとしないが、かくも
さうがふとたゞうきの心とあらそひて、
まよひと、黒い。但魔がとくとくを魔のとく

らと行つまると。巧に條とす。そりへ車
をうひとひと代へとす。代へともひみゆふ。体不ひ
敵。うくも古すあひよひ。又脚筋の筋をも
万葉みみかとほくもうるれとみひへり。まくわ
く毛見也。不倫

ゆらくゆふ事ひまや。又御心をく又古奇ひきひゆすとあらくもくく
ゆらく。代へはこりくらく。ゆらく。ゆらくのミミとく。坐上
世とあらかじよむのをすゆらくとす。前條ヨリ、
とく。要言をち候とゆくゆく無。不及引ひ

又ゆくとも那利身のりふるあり。やまとハ
とく。アラム。難也

ゆくゆふ事ひまや。又御心をく又古奇ひきひゆすとあらくもくく
とく。シカモニ同・里

まあかれと仰そひびくからわもわめと仰げく。而
世中力うけくゆるぬねが。底あ等イハタニからゆきや。而
ちるや。又外のひきそとく。今。狼狽ヤハラギ。而
跡の。下。そとく。しよく。あこよむ。おりそとく。

ゆくゆふ事ひまや。又御心をく又古奇ひきひゆすとあらくもくく
とく。シカモニ同・里

ゆくゆふ事ひまや。又御心をく又古奇ひきひゆすとあらくもくく
とく。シカモニ同・里

三

介隊

何けハナシタニ乃ノ往アガマ裏ミツとトよヨ。而アリきキとトすス。而アリきキとトすス。而アリきキとトすス。

何ハナシタニかカわカけケとトなナらラおオかカせセ。

若ハナシタニとトうトけケくク人ヒをヲ抱ハグすス。而アリ處アリとトうトけケくク處アリ。

若ハナシタニとトうトけケくク人ヒをヲ抱ハグすス。而アリ處アリとトうトけケくク處アリ。

○

加之隊

何ハナシタニかカわカけケとトなナらラおオかカせセ。

口ヒ

三

四

二例

一例

二例

三

口ヒ

三

とよあつまひけり。とわきのとんとうはくを
雪よゆどあや。なまい羽とよくねつるひあきとく
かれし。せきてのじうるりもす。

新古 キタヨササ
とめく。梅さうがむよつてとうく、父も人をほほえとよ
いひてよ。もあすむと人ほほえとよくとく
伊物 ヨシガヨササ
こく。くまくとみづくらわややかみの通すく
後回く。くまくとみづくらわややかみの通すく
くまくとみづくらわややかみの通すく
くまくとみづくらわややかみの通すく

クイハナヨリガライハイヨリガヨササ

キタヨササ

○音二末又折 あ

とよ。雪

とよ。雪

乃あゆ

茅見本折

薰
さうれねやういみの山モササ。よすわかのつまき雪を
らぐ。あをやお

右二例ともに雪言ひ。そよだやひとてしてあるまへや
あとつゆとあつまへかうててすみや。わくすあくよ
わくかくす。文もとまつまく。えうじにまふあくよ
ひととて尽す。今ふくうとてす

奈倍院

何足人

何の装内引中者うち當々と

麻御處

ありまへ又

やうじ

ぬとみれがせうれがくあ

かくあ

かくあ

かくあ

かくあ

かくあ

母乃隊	トイフニア、セテ タマモヘア、アサヒ カツアハナ、オカシ	トモウタマモヘア、 カツアハナ、オカシ
-----	------------------------------------	------------------------

母乃隊

何の装の行ゆまよやあまは身及うす。何事かを
魔術あやまつてゆくとよも内のみまわらひまつて
ゆきよしよめまたとがたてつみほどのよれ地。墨玉をか
え通理がありつけあこと里もかあらちづじかにとおとお
ゑもじよれ。

ハシナニハルトモウタニ
タニキモヒナリモキモ
ウモノナクニコトカ
ウ道リナモノトキハ
リクツナモノテモナイニ
ヌニキガヒナイヨトナラバ
リクツナモノトキニ
タニキモヒナリモキモ
ウモノナクニコトカ
ウ道リナモノトキハ
リクツナモノテモナイニ
ヌニキガヒナイヨトナラバ
リクツナモノトキニ

卷之三

51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
630
631
632
633
634
635
636
637
638
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
670
671
672
673
674
675
676
677
678
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
690
691
692
693
694
695
696
697
698
699
700
701
702
703
704
705
706
707
708
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
750
751
752
753
754
755
756
757
758
759
760
761
762
763
764
765
766
767
768
769
770
771
772
773
774
775
776
777
778
779
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
800
801
802
803
804
805
806
807
808
809
809
810
811
812
813
814
815
816
817
818
819
819
820
821
822
823
824
825
826
827
828
829
829
830
831
832
833
834
835
836
837
838
839
839
840
841
842
843
844
845
846
847
848
849
849
850
851
852
853
854
855
856
857
858
859
859
860
861
862
863
864
865
866
867
868
869
869
870
871
872
873
874
875
876
877
878
879
879
880
881
882
883
884
885
886
887
888
889
889
890
891
892
893
894
895
896
897
898
899
900
901
902
903
904
905
906
907
908
909
909
910
911
912
913
914
915
916
917
918
919
919
920
921
922
923
924
925
926
927
928
929
929
930
931
932
933
934
935
936
937
938
939
939
940
941
942
943
944
945
946
947
948
949
949
950
951
952
953
954
955
956
957
958
959
959
960
961
962
963
964
965
966
967
968
969
969
970
971
972
973
974
975
976
977
978
979
979
980
981
982
983
984
985
986
987
988
989
989
990
991
992
993
994
995
996
997
998
999
1000
1001
1002
1003
1004
1005
1006
1007
1008
1009
1009
1010
1011
1012
1013
1014
1015
1016
1017
1018
1019
1019
1020
1021
1022
1023
1024
1025
1026
1027
1028
1029
1029
1030
1031
1032
1033
1034
1035
1036
1037
1038
1039
1039
1040
1041
1042
1043
1044
1045
1046
1047
1048
1049
1049
1050
1051
1052
1053
1054
1055
1056
1057
1058
1059
1059
1060
1061
1062
1063
1064
1065
1066
1067
1068
1069
1069
1070
1071
1072
1073
1074
1075
1076
1077
1078
1079
1079
1080
1081
1082
1083
1084
1085
1086
1087
1088
1089
1089
1090
1091
1092
1093
1094
1095
1096
1097
1098
1099
1100
1101
1102
1103
1104
1105
1106
1107
1108
1109
1109
1110
1111
1112
1113
1114
1115
1116
1117
1118
1119
1119
1120
1121
1122
1123
1124
1125
1126
1127
1128
1129
1129
1130
1131
1132
1133
1134
1135
1136
1137
1138
1139
1139
1140
1141
1142
1143
1144
1145
1146
1147
1148
1149
1149
1150
1151
1152
1153
1154
1155
1156
1157
1158
1159
1159
1160
1161
1162
1163
1164
1165
1166
1167
1168
1169
1169
1170
1171
1172
1173
1174
1175
1176
1177
1178
1179
1179
1180
1181
1182
1183
1184
1185
1186
1187
1188
1189
1189
1190
1191
1192
1193
1194
1195
1196
1197
1198
1199
1199
1200
1201
1202
1203
1204
1205
1206
1207
1208
1209
1209
1210
1211
1212
1213
1214
1215
1216
1217
1218
1219
1219
1220
1221
1222
1223
1224
1225
1226
1227
1228
1229
1229
1230
1231
1232
1233
1234
1235
1236
1237
1238
1239
1239
1240
1241
1242
1243
1244
1245
1246
1247
1248
1249
1249
1250
1251
1252
1253
1254
1255
1256
1257
1258
1259
1259
1260
1261
1262
1263
1264
1265
1266
1267
1268
1269
1269
1270
1271
1272
1273
1274
1275
1276
1277
1278
1279
1279
1280
1281
1282
1283
1284
1285
1286
1287
1288
1289
1289
1290
1291
1292
1293
1294
1295
1296
1297
1298
1299
1299
1300
1301
1302
1303
1304
1305
1306
1307
1308
1309
1309
1310
1311
1312
1313
1314
1315
1316
1317
1318
1319
1319
1320
1321
1322
1323
1324
1325
1326
1327
1328
1329
1329
1330
1331
1332
1333
1334
1335
1336
1337
1338
1339
1339
1340
1341
1342
1343
1344
1345
1346
1347
1348
1349
1349
1350
1351
1352
1353
1354
1355
1356
1357
1358
1359
1359
1360
1361
1362
1363
1364
1365
1366
1367
1368
1369
1369
1370
1371
1372
1373
1374
1375
1376
1377
1378
1379
1379
1380
1381
1382
1383
1384
1385
1386
1387
1388
1389
1389
1390
1391
1392
1393
1394
1395
1396
1397
1398
1399
1399
1400
1401
1402
1403
1404
1405
1406
1407
1408
1409
1409
1410
1411
1412
1413
1414
1415
1416
1417
1418
1419
1419
1420
1421
1422
1423
1424
1425
1426
1427
1428
1429
1429
1430
1431
1432
1433
1434
1435
1436
1437
1438
1439
1439
1440
1441
1442
1443
1444
1445
1446
1447
1448
1449
1449
1450
1451
1452
1453
1454
1455
1456
1457
1458
1459
1459
1460
1461
1462
1463
1464
1465
1466
1467
1468
1469
1469
14

郭公集

林ハラつせのよきよすまわいをよのとわりとなりすか
かくころもあてかうじよすうねあひとおひしりくさ
が集ハシナガくよしのきにとあひをあひいからだれとく
赤人集アカヒナガくよのとあひのひともとあひを御ミタマとすら
もとあるハ術ハツのつれとあひをけむ万葉中古マニヤウす
考アシテあセと時ハタチめやもとあれ。彼集ヒナガもつま

八 加天隊

何ハナハ事ハサシをじつうはゆうのひともよみれ。古ハタハ
かハタハとひみみくら。雲ハムカウとひふ。又ハタハタすすとひめち
いひかひとひとハハハハ。何ハハハハひくはすとひめち。世
出ハタハタり脚ハタハタなれきひからくはす。あすねうあくと筆
かずきひとへうす。重言ハタハタもげす。ハギシナオヤの也
うきよがききとぬみぬく。ハギシナオヤの也。のくはす
わくよく。ゆゑうらむきかくす。ハギシナオヤの也。

北邊大人著書

京寺町五條上高町
日町曾西市郎兵衛
日嘉年衛

あゆひ抄

六冊

あゆひ抄

三冊

七体七百首

完

咸章家集

三冊

歌ゆひ抄

六冊

詞葉新雅

完

和歌以是ひと

完

俳諧天尔波抄

六冊

百家類集

一冊

古事記

燈

同上
五冊

萬人一首燈

燈

一二冊

假名札五式

已弃行

一冊

北邊隨筆

曲冊

八代集類類

未刻

